

# 新しい「交流及び共同学習」を考える

～満足感・成就感につながるひのくに独自の交流実践～

ひのくに高等支援学校

「交流及び共同学習」というと、近隣の学校や地域、児童生徒の居住地などにおいて、日頃の授業に参加し合ったり、レクリエーションなど特設した活動を楽しんだり、あるいは行事の一環として行ったりする形態が多かったように思います。

今回ひのくに高等支援学校で取り組んだ「交流及び共同学習」は、本校の教育課程の中核である「専門学科」で実践してきた精度の高い製品作りを評価していただいたことがきっかけとなり交流につながったものです。

## 工芸科

### 県立八代中学校 創立10周年記念テーブルの制作

県立八代中学校より、「創立10周年記念テーブルをひのくに高等支援学校で製作してほしい」という依頼を受け、夏休み以降、専門学科の授業の中で制作していきました。これまで子ども用の机は製作・販売してきましたが、今回受注を受けたテーブルは120 cm×120 cmの天板、高さ72 cmの特大サイズで、使用工具から製作手順まで未知のことばかり。それでも生徒は今までの知識と経験を総動員し、材料取り、天板の接ぎ合わせや土台の組立、塗装や天板の取付などの作業に、やりがいを感じながら生き生きとした表情で取り組んでいました。9月中旬、取り掛かりから約2ヶ月で何とか4台を完成させることができました。



天板の接ぎ合わせ作業



部品の磨き作業

### 八代高等学校・中学校の文化祭において贈呈式

9月16日(日)、八代高校・中学校の文化祭に招待いただき、その中で中学校の生徒会との贈呈式が開かれました。本校の生徒会長から「貴重な機会をいただき、ありがとうございます。未永く大切に使用してもらえればうれしいです。」とあいさつを行いました。参加したPTAの

方々から「すごいね」「ありがとう」などのうれしい言葉が多く聞かれ、生徒はとても満足そうでした。その後、食バザーで昼食をいただき、様々な出し物を体験するなど高校の文化祭を満喫しました。本校生徒は経験の幅を広げる、相手校の生徒は特別支援学校のことを知る、といったお互いに意味のある充実した1日となりました。そして、何よりも専門学科をはじめとする学校生活に自信と誇りを持てたことが最大の成果だと思います。



文化祭を満喫



八代中生徒会とともに

## 園芸科

### 益城中学校との交流学習活動

10月16日(火)、益城中学校にて交流学習活動を行いました。その発端は、熊本地震で被災した同校が現在校舎建て替え工事中であり、仮設校舎周辺に花苗を植栽し、教育環境をはじめ生活空間を彩りよくしたいという思いからでした。その思いの賛同された「熊本江南ロータリークラブ」が、益城中学校に50基のプランターと用土を提供され、本校園芸科で栽培した花苗を同中学校美化委員と本校の3年園芸科が植え付け、プランター製作を行うという運びとなりました。

今回の交流学習は、本校生徒が日頃の学習成果を発揮し、植付け方法の説明などをする機会として位置づけ、事前に花苗の栽培作業の振り返りを確認したうえで臨みました。本校生徒は、中学生やロータリークラブの皆様丁寧に教えることができおり、中学生からは「すごい。作業が速いね。」などの感想が聞かれました。本校生徒にとって自己肯定感、有用感の高まりにつながる貴重な学習となりました。



植え付け作業



できあがったプランターの前で